

日本版栄養状態スクリーニング質問票開発 -専門家による質問票案内容の妥当性検討-

研究分担者 和田 安代（国立保健医療科学院 生涯健康研究部）
佐々木 溪円（実践女子大学 生活科学部 食生活科学科）
多田 由紀（東京農業大学 応用生物科学部 栄養科学科）
小林 知未（武庫川女子大学 食物栄養科学部 食物栄養学科）

研究要旨

本研究班で開発中である、わが国では未だ存在していない幼児の栄養状態を簡易的に評価するために開発した日本版栄養状態スクリーニング質問票案の妥当性を明らかにするため、医師、管理栄養士、保健師、看護師、疫学専門家、保育士、幼稚園教諭等の合計12名の専門家を対象とし、質問票案の各項目について、①関連性（relevancy; 幼児の栄養不良の可能性に関するスクリーニング質問票の質問として適切か）、②明確性（clarity; 質問項目が明確か）、③簡便性（simplicity; 保護者が回答する質問項目として、単純・簡単・わかりやすいか）の3指標で評価し、内容の妥当性を検討し、さらに質問票案を改善した。

A. 研究目的

日本においては、ほぼ10年ごとに実施されている乳幼児身体発育調査による発育値と、身長・体重等の身体計測値との比較を行うことで乳幼児の身体発育を客観的に評価している。

一方、身体発育に大きな影響を与える栄養状態の評価も重要である。乳幼児期は栄養不良の影響を受けやすく、乳幼児期の身体発育は、親子の生活環境や早い年齢で確立される食習慣等の影響を受ける。ゆえに、乳幼児の栄養状態や食習慣の評価は、乳幼児健診時だけでなく、家庭や保育所、保健所等でも養育者やその支援者等が、乳幼児の栄養状態・食習慣等を評価できることが望まれる。

身体発育に影響を与える可能性がある食習慣等の栄養リスクをスクリーニングする

目的で使用される評価ツールとして著名なものとしては、17項目の質問からなるNutrition Screening Tool for Every Preschooler (NutriSTEP)¹⁾がカナダにおいて開発されている。しかし、親子の生活環境や食習慣は、国や地域の社会環境や文化等によって大きく異なるため、わが国に適した独自の評価ツールの開発が必要であり、かつわが国では十分に妥当性の検証された同様のツールは見受けられない。

そこで、本研究班では、幼児の栄養リスクをスクリーニングするための簡易ツール案に使用する質問項目案を作成するため、これまで文献調査や自治体で実施されている調査等を分析し、日本版栄養状態スクリーニング質問票案の開発を進めてきた^{2),3)}。

そこで本研究では、幼児の栄養状態を簡易的に評価するために開発した質問票案の

妥当性を明らかにするため、医師、管理栄養士、保健師、看護師、疫学専門家、保育士、幼稚園教諭等の合計 12 名の専門家を対象とし、質問票案の各項目について、①関連性（relevancy; 幼児の栄養不良の可能性に関するスクリーニング質問票の質問として適切か）、②明確性（clarity; 質問項目が明確か）、③簡便性（simplicity; 保護者が回答する質問項目として、単純・簡単・わかりやすいか）の 3 指標で評価し、内容の妥当性を検討した。

B. 方法

我々は、これまで文献調査や自治体への調査等をもとに、乳幼児の栄養リスクをスクリーニングするための簡易ツール案に使用する質問項目案を 1 歳 6 か月～3 歳未満児、3 歳～5 歳児対象の 2 種類について作成した。作成した質問票案について、専門部会による評価、コメントを依頼した。

医師、管理栄養士、保健師、看護師、疫学専門家、保育士、幼稚園教諭等の合計 12 名を専門部会とした。専門家は、専門資格を有し、研究機関の専門家や養成校の教員をしている、あるいは小児を専門として医療機関に勤務している者を対象とした。

専門部会の専門家の詳細を下記に記す。

- [A] 保健師、看護師、養護教諭、精神保健福祉士：50 歳代
大学病院看護師を 2 年、自治体保健師を 15 年、看護系大学教員を 8 年、研究機関の研究官を 2 年 6 か月務める。
- [B] 保健師、看護師：40 歳代
大学病院看護師を約 1 年半、自治体の保健師を約 6 年半、大学の教員を約 7 年、研究機関の研究官を約 1 年半務める。
- [C] 保健師、看護師、養護教諭専修免許：

30 歳代

基礎自治体の行政保健師として約 3 年勤務後、大学教員を 6 年務める。

- [D] 管理栄養士、栄養士：50 歳代
県の行政管理栄養士として 25 年従事（県庁、保健所、県立病院等）、管理栄養士養成課程の大学にて公衆栄養学を担当。
- [E] 管理栄養士、栄養士：60 歳代
公衆衛生行政に 13 年、教育研究機関に 24 年勤める。
- [F] 疫学専門家、医師：50 歳代
経験年数 30 年、小児科、現在は研究機関の管理職を務める。
- [G] 医師：40 歳代
2003 年以降、医師として医療機関に勤務、現在は小児専門の総合医療機関における保健室長兼アレルギー科責任者を務める。
- [H] 医師（小児科医）：50 歳代
大学病院に 8 年（研修医 2 年含む）、国立小児病院アレルギー科に 3 年、国立病院機構相模原病院小児科に 9 年勤務後、開業 10 年、相模原市医師会理事を 7 年目（学校保健、保育園、公衆衛生（乳幼児健診、予防接種担当）務める。
- [I] 幼稚園教諭、保育士、小学校教諭、特別支援学校教諭：50 歳代
小学校教諭として 5 年、幼稚園教諭として 15 年、その後、保育者養成校で 14 年勤める。
- [J] 幼稚園長経験、中高・家庭科免許 一種：60 歳代
民間シンクタンクに 8 年、大学教育学部に 15 年、大学附属幼稚園長を 1 年、保育者養成大学に 8 年勤める。
- [K] 保育士、幼稚園教諭：40 歳代

保育者養成校に17年勤める。

[L] 保育士、幼稚園教諭：60歳代

公立保育所の保育者を40年の経験がある。保育者と園長、区役所に2年勤務後、大学、短大、専門学校等含め保育者養成の教員を8年と5か月務める。

各専門家が、質問票案の各項目について、①関連性（relevancy; 幼児の栄養不良の可能性に関するスクリーニング質問票の質問として適切か）、②明確性（clarity; 質問項目が明確か）、③簡便性（simplicity; 保護者が回答する質問項目として、単純・簡単・わかりやすいか）の3指標で評価した。各項目は、関連性（1-関連なし、2-項目の修正が必要、3-関連はあるが若干の修正が必要、4-非常に関連あり）、明確性（1-明確でない、2-項目の修正が必要、3-明確ではあるが若干の修正が必要、4-非常に明確）、簡便性（1-簡単でない、2-項目の修正が必要、3-簡単だが若干の修正が必要、4-非常に簡単）について各4点で評価し、各項目について、任意で回答できるコメント欄も設けた。さらに質問票全体で自由記述による回答も得た。

内容の妥当性指数（content validity index：CVI）は、その項目（質問）が適切、明確、単純（評価3または4）であると評価した専門家の割合を用いて計算され、CVIが少なくとも0.79であれば、許容範囲、0.70-0.78の場合は修正、0.69以下の場合はその項目を削除するとされており、本検討についても計算した。

得られた回答をもとに、研究班で検討し、質問票案を改めた。

C. 結果

（1）内容の妥当性指数（content validity index：CVI）

CVIは1歳6か月～3歳未満児用の質問票、3歳～5歳児用の質問票両方において0.83-1.00であり、指数としては許容範囲内であった（表1、表2）。

表1. 1歳6か月～3歳未満児用の質問票案のCVI

	CVI		
	関連性	明確性	簡便性
1) 穀類	1.00	0.92	0.92
2) 牛乳・乳製品	1.00	1.00	1.00
3) 野菜・果物	0.92	0.83	0.92
4) 魚	0.92	0.92	1.00
5) 肉	0.92	0.92	1.00
6) 卵	0.92	0.92	1.00
7) 大豆・大豆製品	1.00	1.00	1.00
8) ファストフード	1.00	1.00	1.00
9) 菓子	0.92	1.00	0.92
10) 甘味飲料	0.92	1.00	1.00
11) 食事の問題	0.92	0.92	0.92
12) 咀嚼・嚥下の問題	1.00	1.00	0.92
13) 食事の自立	1.00	1.00	0.92
14) 飲料の摂取方法	0.92	0.92	0.92
15) 食事時の空腹	1.00	1.00	0.83
16) 食事回数	1.00	1.00	1.00
17) ながら食べ	1.00	1.00	0.92
18) 共食	1.00	1.00	0.92
19) スクリーンタイム	0.92	1.00	0.92
20) 安心感	0.92	1.00	0.92
21) 体重に関する認識	1.00	1.00	1.00
22) 経済状況	0.92	1.00	1.00

表 2. 3 歳～5 歳児用の質問票の CVI

	CVI		
	関連性	明確性	簡便性
1) 穀類	1.00	0.92	0.92
2) 牛乳・乳製品	1.00	1.00	1.00
3) 野菜	0.92	0.92	0.92
4) 果物	0.83	0.92	0.92
5) 魚	0.92	0.92	1.00
6) 肉	1.00	1.00	1.00
7) 卵	0.92	0.92	1.00
8) 大豆・大豆製品	1.00	1.00	1.00
9) ファストフード	1.00	1.00	1.00
10) 菓子	0.92	1.00	0.92
11) 甘味飲料	0.92	1.00	1.00
12) 食事の問題	0.92	0.92	0.92
13) 咀嚼・嚥下の問題	1.00	1.00	0.92
14) 食事時の空腹	1.00	1.00	0.83
15) 食事回数	1.00	1.00	1.00
16) ながら食べ	1.00	1.00	0.92
17) 共食	1.00	1.00	0.92
18) 身体活動	1.00	1.00	1.00
19) スクリーンタイム	0.92	1.00	0.92
20) 安心感	0.92	1.00	0.92
21) 体重に関する認識	1.00	1.00	1.00
22) 経済状況	0.92	1.00	1.00

(2) タイトルとフェイスシート

(a) 検討前

フェイスシートは専門部会開催後に研究班で検討して作成されたため、検討前のタイトルとフェイスシートはない。

(b) 専門部会の評価とコメント

フェイスシートは専門部会の評価後に研究班で検討して作成されたため、評価とコメントはない。

(c) 研究班のコメント

- フェイスシートが必要である。

[タイトル]

- タイトルは要検討である。

[子ども名前]

- お子様またはお子さん（設問で使用）のどちらかに統一が良いのではないかな。
- 乳幼児栄養調査と同じく、「お子さん」で統一する方が良い。

[子どもの年齢]

- 年齢を書いていただくか、生年月日と回答日の組み合わせで書いていただくか、検討が必要である。
- 年齢と生年月日両方書いていただくのが良い。
- 西暦、和暦は書いておいた方が良いかな。

[子どものアレルギー]

- アレルギーあり・なしの項目は入れるか要検討である（専門委員の先生の自由記述で触れられている）。小麦粉・牛乳・卵あたりが必要である。
- 現在、食物アレルギーのためにお子さんの食事から除去している食物について、鶏卵、牛乳、小麦、その他（ ）にする。アレルギーの調査ではないので、選択肢は少なめが良いかな。
- 食物アレルギー診療ガイドラインで、疫学的に新規発症の原因物質で、1 歳～5 歳のトップ 5 のものを入れる。鶏卵・牛乳・小麦・木の実類・果物類・魚卵・落花生・その他（ ）
- これらを並べるなら、鶏卵・牛乳・小

麦・ピーナッツ（落花生）・ナッツ類・果物類・魚卵・その他（ ）が良い。

- ピーナッツと落花生が同じ物だと知らない人が多く、アレルギー表示が変わったため。また、ピーナッツがナッツ類ではないと知らない人もいるので、ピーナッツを先に書くと良いのではないかな。

[回答者の属性]

- 乳幼児栄養調査では、「祖父母」となっている。
- 「祖父母」が良い。
- 「回答者とお子さんの続柄」が良いのではないかな。

[出生時の体格]

- 子どもの出生時身長・体重・現在の身長・体重、在胎週数、出生順位を聞いているが、それらを入れるか検討が必要である。
- 出生時と現在の体格、在胎週数、出生順位も入れておきたい。

その他必要な項目を検討した。

(d) 検討結果

検討結果は表 3 に示す。

（３）１歳６か月～３歳未満児用の質問票 案日本版栄養スクリーニングの内容検討 （検討後改変した箇所を下線で示す。）

（ア）導入文

(a) 検討前の文

1) ～22) について、お子様の状況について最もあてはまる選択肢を一つだけ選んでください。

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会開催後に作成されたため、評価とコメントはない。

(c) 研究班のコメント

- 研究班では、平日と休日合わせた平均的な食生活・生活習慣を聞いている想定であったが、「週 7 想定」と明記していなかった（スクリーンタイムに関しては、平日と休日で大きく異なる可能性があるため、平日のみをイメージしている）。
- 保育所の給食についての扱いが不明瞭であると専門部会の全体の自由記述である。

(d) 検討結果（変更した箇所を下線）

1) ～22) について、お子様の状況について最もあてはまる選択肢を一つだけ選んでください。

＜注意事項＞ご自宅のお食事だけでなく、
保育園等の給食も含んだ内容で回答をして
ください。

（イ）穀類

(a) 検討前の質問

1) **穀類** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で穀類（ごはん、パン、麺類、シリアル等）を食べていますか。

1：1 日に 5 回以上、0：1 日に 3～4 回、
2：1 日に 2 回、3：1 日に 1 回、4：ほとんど食べない

表 3. フェイスシートの検討結果（1 歳 6 か月～3 歳未満児用、3 歳～5 歳児用共通）

回答日	西暦 年 月 日	
回答者について	お名前(保護者等)	
	お子さんとの続柄	お子さんの父 ・ お子さんの母 ・ お子さんの祖父 ・ お子さんの祖母 ・ ベビーシッター ・ その他()
	年齢	10 歳代・20 歳代 ・ 30 歳代 ・ 40 歳代 ・ 50 歳代 ・ 60 歳代 70 歳代以上 ・ 答えたくない
お子さんについて	お名前	
	生年月日(年齢)	西暦 年 月 日 (歳 か月)
	性別	男 ・ 女
	身長と体重	出生時: cm g 現在: cm kg
	在胎週数	週 日
	出生順位	番目
育児状況	主に育児をする方	お子さんの父 ・ お子さんの母 ・ お子さんの祖父母 ・ ベビーシッター ・ その他()
	日中の主な保育先	幼稚園 ・ 保育所(園) ・ 認定こども園 ・ 祖父母や親戚 通っていない(お願いしていない) ・ その他()
現在、食物アレルギーのためにお子さんの食事から除去している食物: 鶏卵 ・ 牛乳 ・ 小麦 ・ ピーナッツ(落花生) ・ ナッツ類 ・ 果物類 ・ 魚卵 ・ その他()		

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表4に示す。

表4. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	2	4	3	3	3
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	2	4

専門部会のコメント

[H] 日本人の食習慣において穀物を摂取しない食事の回数は少なく、間食含め摂取回数が増えることはあまり無いように考えるため、選択肢を0、1、2、3、4以上とした方が良いと考える。「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきである。

[I] 量に言及しなくてよい。穀類に関しては、かなり量が影響するように思われる。

[J] シリアルはグラノーラもオートミールも糖分が高い。穀類の加工商品のため、穀類である米やパンと同列にできないのではないかな。

[K] いも類の定義を明示しておくが良い。選択肢番号の順序に若干の違和感がある。

[L] 全体を通して選択肢にも数字が多い。点数が順不同の為わかりにくい。表記方法に修正が必要なのではないかな。

(c) 研究班のコメント

- 「頻度」という表現が、「何回」等の平易な表現の方が良いのか検討が必要である。フォーカスグループインタビュー

ユーで確認する。

- 市販品において、パンに関しては蒸しパンは「和菓子」、あるいは「和生菓子」、あんパンは「菓子パン」の名称が用いられている。スティックパンの名称は「パン」が用いられている。
- 蒸しパン・あんパン等は穀類ではなく、菓子の分類ではないか。
- 栄養素的要素から、チョコパンとクリームパンは穀類には入れない。

(d) 検討結果

1) **穀類** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で穀類（ごはん、パン（あんパン・蒸しパン等を除く）、麺類、シリアル等）を食べていますか。

1：1日に5回以上 0：1日に3～4回

2：1日に2回 3：1日に1回 4：

ほとんど食べない

(ウ) 牛乳・乳製品

(a) 検討前の質問

2) **牛乳・乳製品** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で牛乳・乳製品（粉ミルク、チーズ、ヨーグルト等）を食べたり飲んだりしていますか（授乳している場合は母乳も含みます）。

0：1日に3回以上、1：1日に2回、2：1日に1回、4：ほとんど食べない（飲まない）

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表5に示す。

表5. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4	4	4

明 確 性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3
簡 便 性	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4

専門部会のコメント

[G] 評価しようとしている栄養素によって
は、母乳は不適當かもしれない。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表
現に変えるべきではないか。

[J] ヤクルトは調べたところ「乳製品乳酸
菌飲料」となっている。例示に含めて
はどうだろうか。

(c) 研究班のコメント

現状のままで、フォーカスグループインタ
ビューで伺う。

(d) 検討結果

2) **牛乳・乳製品** あなたのお子さんは普
段、どのくらいの頻度で牛乳・乳製品（粉
ミルク、チーズ、ヨーグルト等）を食べた
り飲んだりしていますか（授乳している場
合は母乳も含みます）。

0：1日に3回以上　　1：1日に2回

2：1日に1回　　4：ほとんど食べない
（飲まない）

(エ) 野菜・果物

(a) 検討前の質問

3) **野菜・果物** あなたのお子さんは普
段、どのくらいの頻度で野菜や果物を食べ
ていますか。

0：1日に3回以上、2：1日に2回、3：1
日に1回、4：ほとんど食べない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表6に示す。

表6. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関 連 性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	4
明 確 性	2	4	4	3	4	4	4	4	4	4	2	3
簡 便 性	3	4	4	3	4	4	4	3	4	4	2	4

専門部会のコメント

[A] 質問内容に「野菜」と「果物」の2つ
入っていると、回答に迷う方もいるの
ではないか。子どもの月齢で3歳未満
はあえて1つの設問にしているのであ
ればご放念いただきたい。

[D] 野菜と果物は摂取頻度がそもそも異な
るので、別々に質問した方が回答しや
すいのではないか。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表
現に変えるべきではないか。

[K] 野菜と果物とは、食す頻度に差異が
確実にあるのではないか。

(c) 研究班のコメント

- 野菜と果物が一緒になっていて混乱し
ないか、フォーカスグループインタビ
ューで確認する。
- いも類は野菜の中か、明記しなくて良
いか検討する。
- 念のため、いもは野菜という認識か聞
いてみても良いかもしれない。専門委
員のコメンタではいも類がここに入る
のか否かのコメントがあった。

(d) 検討結果

3) **野菜・果物** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で野菜や果物を食べていますか。

0：1日に3回以上 2：1日に2回
3：1日に1回 4：ほとんど食べない

(オ) 魚

(a) 検討前の質問

4) **魚** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で魚を食べていますか。

0：毎日1回以上、1：週に4～6日、2：週に1～3日、4：週に1回未満

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表7に示す。

表7. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	4
明確性	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	2	4
簡便性	4	4	4	4	3	4	3	3	4	4	3	4

専門部会のコメント

[B] 大豆は、大豆製品と書いているが、魚のお菓子等、加工品は含むのか。

[E] 「4:週に1回未満」の表現について、意味が若干不明瞭ではないか。「ほとんど食べない」の意味か、「月に1～2回」の意味か。どちらであっても同レベルと判断されているのであれば、異存はない。「週に1回未満」の表現が保護者にとってわかりにくいかもしれない。

[G] 魚肉ソーセージ等の加工品をどうするか記載があっても良い。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

[K] 週に1日と1回の違いが不明瞭ではないか。

(c) 研究班のコメント

- かまぼこやちくわ、魚肉ソーセージ等の加工品は含まないイメージがある。
- 週に1日と1回の違いが不明瞭という意見あり。混乱しないかフォーカスグループインタビューで確認する。
- 「ほとんど食べない」にしなくても、選択肢を読んでいけば、他の選択肢にしなければこれを選ぶ。

(d) 検討結果

4) **魚** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で魚を食べていますか。

0：毎日1回以上 1：週に4～6日
2：週に1～3日 4：週に1回未満

(カ) 肉

(a) 検討前の質問

5) **肉** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で肉類を食べていますか。

0：毎日1回以上、1：週に4～6日、2：週に1～3日、4：週に1回未満

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表8に示す。

表8. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	4
明確性	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	2	4

簡 便 性	4	4	4	4	3	4	3	3	4	4	3	4
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

専門部会のコメント

[E] 「4:週に1回未満」の表現について、意味が若干不明瞭ではないか。「ほとんど食べない」の意味か、「月に1～2回」の意味か。どちらであっても同レベルと判断されているのであれば、異存はない。「週に1回未満」の表現が保護者にとってわかりにくいかもしれない。

[G] 加工肉の扱いに関して記載があっても良い。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

[K] 週に1日と1回の違いが不明瞭ではないか。

(c) 研究班のコメント

- 肉類には、ソーセージ、ハム、ベーコンも含んで構わないイメージだが、明記はしない。

(d) 検討結果

5) **肉** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で肉類を食べていますか。

0: 毎日1回以上 1: 週に4～6日

2: 週に1～3日 4: 週に1回未満

(キ) 卵

(a) 検討前の質問

6) **卵** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で卵を食べていますか。

0: 毎日1回以上、1: 週に4～6日、2:

週に1～3日、4: 週に1回未満

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表9に示す。

表9. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	2
明確性	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	3	2
簡便性	4	4	4	4	3	4	3	3	4	4	3	4

専門部会のコメント

[B] 大豆は、大豆製品とかいているが、卵の加工品は含むのか。

[E] 「4:週に1回未満」の表現について、意味が若干不明瞭ではないか。「ほとんど食べない」の意味か、「月に1～2回」の意味か。どちらであっても同レベルと判断されているのであれば、異存はない。「週に1回未満」の表現が保護者にとってわかりにくいかもしれない。

[G] 加工品の扱いに関して記載があっても良いのではないか。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

[K] 週に1日と1回の違いが不明瞭ではないか。

[L] 卵に関しても頻度より個数の方がわかりやすい。

(c) 研究班のコメント

現状のままで、フォーカスグループインタビューで伺う。

(d) 検討結果

6) **卵** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で卵を食べていますか。

0：毎日1回以上 1：週に4～6日

2：週に1～3日 4：週に1回未満

(ク) 大豆・大豆製品

(a) 検討前の質問

7) **大豆・大豆製品** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で大豆や大豆製品を食べていますか。

0：毎日1回以上、1：週に4～6日、2：週に1～3日、4：週に1回未満

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表10に示す。

表10. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	3	3	4	4	4	4	3	3
簡便性	4	4	3	4	3	4	4	3	4	4	3	4

専門部会のコメント

[C] 多くの保護者の方は理解できると思うが、大豆製品の説明があるとよりわかりやすい。

[D] 大豆製品の例を記載した方がわかりやすい。

[E] 「4:週に1回未満」の表現について、意味が若干不明瞭ではか。「ほとんど食べない」の意味か、「月に1～2回」の意味か。どちらであっても同レベルと判断されているのであれば、異存はない。「週に1回未満」の表現が

保護者にとってわかりにくいかもしれない。

[F] 「大豆製品（豆腐、納豆等）」としてはどうか。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。質問文の大豆・大豆製品の内容を具体的に示した方が良い（例：豆腐、納豆等）。

[K] 週に1日と1回の違いが不明瞭ではないか。

(c) 研究班のコメント

- 例示が長いが、現代の母親は豆腐、納豆等ではわからないかもしれない。
- 油揚げはメインディッシュになりにくいので削除した。例示3つで良いかと感じる。

(d) 検討結果

7) **大豆・大豆製品** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で大豆や大豆製品（豆腐、納豆、厚揚げ等）を食べていますか。

0：毎日1回以上 1：週に4～6日

2：週に1～3日 4：週に1回未満

(ケ) ファストフード

(a) 検討前の質問

8) **ファストフード** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度でファストフード（ハンバーガー、フライドポテト、チキンナゲット等）を外食もしくはテイクアウトで食べていますか。

4：週に3回以上、2：週に2回、1：週に1回以下、0：ほとんど食べない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 11 に示す。

表 11. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4

専門部会のコメント

[G] 自宅で作成するものに関しては対象外として良いのか。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

(c) 研究班のコメント

現状のままで、フォーカスグループインタビューで伺う。

(d) 検討結果

8) **ファストフード** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度でファストフード（ハンバーガー、フライドポテト、チキンナゲット等）を外食もしくはテイクアウトで食べていますか。

4：週に 3 回以上 2：週に 2 回 1：週に 1 回 0：ほとんど食べない

(コ) 菓子

(a) 検討前の質問

9) **菓子** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で甘いおやつ（砂糖を含むアメ、チョコレート、クッキー、菓子パン等）を食べていますか。

4：1 日に 5 回以上、3：1 日に 3～4 回、2：1 日に 2 回、1：1 日に 1 回、0：ほとんど食べない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 12 に示す。

表 12. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	3	4	3	3	3	4
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	2

専門部会のコメント

[G] 菓子パンの定義、菓子パンを食事として食べている場合等の記載方法が書かれていると良い。

[H] 間食において、甘いものも重要だがスナック菓子も脂質の摂取量の問題もあり、質問項目として重要と考える。例に「菓子パン」を挙げているが、穀物のところで「パン」が挙げられているので、この重複はデータの解析に問題が出るのではないか。「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

[I] 食事に気を遣い、甘さを抑えた手作り菓子を食べさせる家庭もあるため、ここは「市販の甘いお菓子」と限定しても良い。

[J] 菓子パンは 1) 穀類ではなく、9) で良いか。菓子パンが入っていると回答者が疑問に思わないか。

[K] ゼリーやベビーせんべいは、これに含まれるか。

[L] 保育園に通っている場合、やや解答しづらいのではないかな。

(c) 研究班のコメント

- 改めて見てみると長い。蒸しパン・あんパン等はどうかな。
- スティックパンは穀類のイメージ（栄養表示で、スティックパンはパン、蒸しパンは和菓子）がある。
- スナック類はポテトチップス、おせんべい、いもけんぴ等をイメージする、
- チョコパンとクリームパンはいれない。

(d) 検討結果

9) **菓子** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で市販の甘いお菓子（砂糖を含むアメ、チョコレート、クッキー、ケーキ、ドーナツ、あんパン・蒸しパン）やスナック類を食べていますか。

4：1日に5回以上 3：1日に3～4回
2：1日に2回 1：1日に1回 0：ほとんど食べない

(サ) 甘味飲料

(a) 検討前の質問

10) **甘味飲料** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で甘い飲み物（乳酸飲料、ジュース(果汁 100%の飲料を除く)、スポーツドリンク等)を飲んでいますか。
4：1日に5回以上 3：1日に3～4回、
2：1日に2回、1：1日に1回、0：ほとんど飲まない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 13 に示す。

表 13. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	4	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
簡便性	4	4	3	4	4	4	4	3	4	4	4	4

専門部会のコメント

[C] 多くの保護者の方は理解できると思うが、乳酸飲料がわからない方がいるかもしれない。

[H] 果汁 100%の飲料は甘味料入っていないが、カロリーの点では重要であるが、むしろ自然食を推奨している場合果汁 100%の飲料のみたくさん摂取していると摂取カロリーオーバーになりそうなので、質問項目に果汁 100%も含む方が良いと考える。
「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないかな。

(c) 研究班のコメント

- 乳酸を乳酸菌に修正する。

(d) 検討結果

10) **甘味飲料** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で甘い飲み物（乳酸菌飲料、ジュース(果汁 100%の飲料を除く)、スポーツドリンク等)を飲んでいますか。
4：1日に5回以上 3：1日に3～4回
2：1日に2回 1：1日に1回 0：ほとんど飲まない

(シ) 食事の問題

(a) 検討前の質問

11) **食事の問題** あなたは、お子さんの食事について偏食、食べすぎ、小食で困ることがありますか。

4：ほとんどの食事で困る、2：時々ある、
1：まれにある、0：ほとんどない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 14 に示す。

表 14. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	2	4	3	4	3	4
明確性	3	4	3	4	4	3	4	4	3	2	3	3
簡便性	3	4	3	4	4	4	4	2	3	4	3	3

専門部会のコメント

[A] 「偏食、食べすぎ、小食」3つの表現の記載があるが、低年齢ほど食事の状況は一定していないこともあるため、該当する内容が1つとは限らないと考えられるので「偏食、食べすぎ、小食等・・・」としても良いのではないかな。

[C] 他の選択肢をみれば頻度とわかるが、選択肢の「ほとんどの食事で困る」が、頻度なのか、種類なのか不明瞭ではないかな。

[D] 偏食、食べすぎ、小食のいずれかの問題があるかは把握できるが、どの問題かは把握する必要がないということで良いかな。

[F] 「偏食、食べすぎ、小食等で」と「12) 咀嚼・嚥下の問題」と同じ記載が良い。

[G] 栄養不良の調査に「食べ過ぎて困る」と「少食で困る」が同じ点数であるのは違和感がある。

[H] 「ほとんど」、「時々」、「まれに」の定義がわからない。

[I] 保護者が困っているかどうかではなく、「偏食、食べ過ぎ、少食」の子どもの状態をたずねるべきではないかな。偏食でも調理法を工夫している保護者はさほど困っていないかもしれない。

[J] 「偏食はありますか」と「食べ過ぎや小食はありますか」は質問を別にしたほうが良い。

[K] 選択肢番号が欠損している。「時々」と「まれ」のニュアンスが混合する。

[L] 「時々」と「まれ」の違いがわかりづらい。

(c) 研究班のコメント

- 回答欄を改善する。

(d) 検討結果

11) **食事の問題** あなたは、お子さんの食事について偏食、食べすぎ、小食で困ることがありますか。

4 いつも困る 2 時々困る 1 あまり
困らない 0 全く困らない

(ス) 咀嚼・嚥下の問題

(a) 検討前の質問

12) **咀嚼・嚥下の問題** あなたは、お子さんの食事について噛めない、飲み込めない、むせる等で困ることがありますか。

4：ほとんどの食事で困る、2：時々ある、
1：まれにある、0：ほとんどない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 15 に示す。

表 15. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4
明確性	4	4	3	4	4	4	4	4	3	4	3	4
簡便性	4	4	3	4	4	4	4	2	4	4	3	4

専門部会のコメント

[C] 他の選択肢をみれば頻度とわかるが、
選択肢の「ほとんどの食事で困る」
が、頻度なのか、種類なのか不明瞭で
はないか。

[H] 「ほとんど」、「時々」、「まれに」
の定義がわからない。

[I] 11) 同様に、保護者が困っているかで
はなく、子どもの状態を聞く必要がある
のではないか。

[K] 選択肢番号が欠損している。時々とま
れのニュアンスが混合する。

(c) 研究班のコメント

- 回答欄を改善する。

(d) 検討結果

12) 咀嚼・嚥下の問題 あなたは、お子さ
んの食事について噛めない、飲み込めな
い、むせる等で困ることがありますか。

4 いつも困る 2 時々困る 1 あまり
困らない 0 全く困らない

(セ) 食事の自立

(a) 検討前の質問

13) 食事の自立 あなたのお子さんは、食
事やおやつを自分で食べられますか。

0：いつもできる、1：ほとんどできる、
2：時々できる、3：まれにできる、4：全
くできない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 16 に示す。

表 16. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
明確性	4	4	3	4	3	3	4	4	4	4	3	4
簡便性	4	4	3	4	3	4	4	2	4	4	3	4

専門部会のコメント

[C] これは、保護者が配膳までを含めて準
備した食事等を自分で食べることがで
きるかを問うものなのか。

[E] 「0:いつもできる」と「1:ほとんどの
場合」について、1 点の差までであるの
か。「0:いつもできる」と「1:ほとん
どの場合」について、保護者は両項目
の差を理解できるか。

[F] 13)と同様に「食事やおやつ等」とした
方が良いのではないか。

[H] 「いつも」、「時々」、「まれに」の
定義がわからない。

[K] 特に 2 歳未満食す食品によるとも考え
られる。

(c) 研究班のコメント

- 「いつもできる」、「時々できる」等は
頻度になる。スキルとしてできるかを
聞いている。

(d) 検討結果

13) **食事の自立** あなたのお子さんは、食事やおやつ等を（補助なしで）自分で食べられますか。

0 全部できる 1 ほとんどできる 2 あまりできない 4 全くできない

(ソ) 飲料の摂取方法

(a) 検討前の質問

14) **飲料の摂取方法** あなたのお子さんは飲料を飲むときに、どのくらいの頻度で哺乳瓶を使いますか。

4：いつも、3：たいてい、2：時々、1：まれに、0：全くない

(a) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 17 に示す。

表 17. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	1	4	4	3	4
明確性	4	4	4	3	4	4	2	4	4	4	3	4
簡便性	4	4	4	3	4	4	4	2	4	4	3	4

専門部会のコメント

[D] たいてい、まれにはわかりにくい（いつも使う、よく使う、時々使う、あまり使わない、全く使わない）。

[G] 粉ミルクが飲料に含まれるかどうか記載が欲しい。

[H] 日本では 1 歳 6 か月から 3 歳までで哺乳瓶を使用している児は非常に少ないと考えられるので、非常に少数のデータが解析に耐えうる有意性をもつ予測

因子となり得るか疑問である。「いつも」、「時々」、「まれに」の定義がわからない、「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

[K] 1 歳半以降は、マグカップにストローがついたものが多い気がする、哺乳瓶の使用率を明確にしたい意図か。

(b) 研究班のコメント

- 設問内容と選択肢を改善する。

(c) 検討結果

14) **飲料の摂取方法** あなたのお子さんは飲料（粉ミルクを含む）を飲むときに、どのくらいの頻度で哺乳瓶を使いますか。

4 いつも使う 2 時々使う 0 全く使わない

(タ) 食事時の空腹

(a) 検討前の質問

15) **食事時の空腹** あなたのお子さんは、どのくらいの頻度で食事の時に空腹を空かせていますか。

0：いつも、1：ほとんどの場合、2：時々、3：まれに、4：ほとんどない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 18 に示す。

表 18. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4
明確性	4	3	4	3	3	3	4	4	4	4	3	3

簡 便 性	4	4	4	3	3	4	2	2	4	4	3	3
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

専門部会のコメント

- [B] 「食事の時に」というより、「食事開始時」だろうか。
- [D] 朝食時はお腹を空かせていないが、夕食時は空かせているといった場合に、1食でも空腹感があればいつもと回答しても良いのか。
- [E] 「0:いつもできる」と「1:ほとんどの場合」について、1点の差まであるか。「0:いつもできる」と「1:ほとんどの場合」について、保護者は両項目の差を理解できるのか。
- [F] 「食事の前に「お腹が空いた」と言いますか」としたらどうか。
- [G] 「お腹を空かせているかわからない」という人がいるのではないか。
- [H] 「ほとんど」、「時々」、「まれに」の定義がわからない、「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。
- [I] 食事時間が規則正しいことが前提になっている気がするが、家庭によっては、食事時間自体が不規則な家庭もある。食事時間を聞くと良いが、プライバシーに入り込みすぎか。
- [K] 選択肢番号の順序が気になった。

(c) 研究班のコメント

- 「お腹を空かせているかわからない」という人がいると思いますというご意見あった。フォーカスグループインタビューで確認する。
- 愛知県の調査項目に入っている。
- 「食事の前に「お腹が空いた」と言

ますか」とするのはどうか、というご意見もあった。→愛知県の調査項目に入っているので基本はこのままとする。

- 1と2の区別がつきづらいかもしいない。時々は空いているけど、あまり空いていない。14のように、いつも、時々、全く、にして、全くと同点で「わからない」を入れるのはどうか。

(d) 検討結果

15) **食事時の空腹** あなたのお子さんは、どのくらいの頻度で食事の時に空腹を空かせていますか。

0 いつも空かせている 1 時々空かせている 2 あまり空かせていない 4 全く空かせていない

(チ) 食事回数

(a) 検討前の質問

16) **食事回数** あなたのお子さんは普段、1日に食事とおやつを合わせて何回食べますか。

4: 1日1回以下、3: 1日2回、1: 1日3回、0: 1日4~5回、2: 1日6回以上

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 19 に示す。

表 19. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4

専門部会のコメント

[K] 選択肢番号の順序が気になった。

(c) 研究班のコメント

現状のままで、フォーカスグループインタビューで伺う。

(d) 検討結果

16) **食事回数** あなたのお子さんは普段、1日に食事とおやつを合わせて何回食べますか。

4: 1日1回以下 3: 1日2回 1: 1日3回
0: 1日4~5回 2: 1日6回以上

(ツ) **ながら食べ**

(a) 検討前の質問

17) **ながら食べ** あなたのお子さんは、どのくらいの頻度でテレビやタブレット、スマートフォン等を見たり、本を読んでもらったり、おもちゃで遊んだりしながら、食事やおやつを食べますか。

4: いつも、3: ほとんどの場合、2: 時々、1: まれに、0: 全くしない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 20 に示す。

表 20. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	3	4

専門部会のコメント

[H] 「いつも」、「時々」、「まれに」の定義がわからない、「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

[J] 自分で「タブレット、スマートフォン等を見たりおもちゃで遊んだり」と、「親等に、本を読んでもらったり（本を読んでもらわないと食べない？）は、分けて尋ねてはどうか。

[K] 保育園では「ながら食べ」はないので、ご家庭の食事に限定してお尋ねになるかどうか、気になった。

(c) 研究班のコメント

- 保育所ではながら食べはないので、ここは家庭に限定した方が良いのではないかという意見がある。
- あなたのお子さんは、「ご家庭で」・・・と入れたほうがスムーズに読める。

(d) 検討結果

17) **ながら食べ** あなたのお子さんはご家庭で、どのくらいの頻度でテレビやタブレット、スマートフォン等を見たり、本を読んでもらったり、おもちゃで遊んだりしながら、食事やおやつを食べますか。

4: いつもしている 2: 時々している
1: あまりしない 0: 全くしない

(テ) **共食**

(a) 検討前の質問

18) **共食** あなたのお子さんは、どのくらいの頻度で夕食を一人で食べることがあります。

4：いつも、3：ほとんどの場合、2：時々、1：まれに、0：全くしない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 21 に示す。

表 21. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
明確性	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	4	4
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	4	4

専門部会のコメント

[G] 1人で食べる、ことの定義があっても良い（母親が同じテーブルに座って、時々食べさせて、テレビを見ている、状況等を含むのかどうか等）。

[H] 「いつも」、「時々」、「まれに」の定義がわからない、「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

[J] 母親が食べさせているが、母親は父親が帰宅後に一緒に食事をするために食べていないときは「一人で食べる」になるのか（栄養的には問題がないと思われる）、「（用意された料理を）一人で食べる」の定義を明確にしたほうが良い。

(c) 研究班のコメント

- 乳幼児栄養調査と同じ質問（乳幼児栄養調査では、朝食と夕食を分けている）である。
- 回答欄に「その他」もある。
- 「あなたのお子さんは、普段どのよう

に夕食をとっていますか。」ではどうか。

- この問題・選択肢について、フォーカスグループインタビューで確認する。
- 祖父母が同居していたら、祖父母も含めるか。
- 祖父母も含めて良い。また、乳幼児栄養調査と同じ内容だが、「母親が夕食を作っていて、母親は遅い帰宅の父親を待っていただくけれども、子どもに先に食べさせ、母親は同じテーブルにいる」という状況が4になってしまうところが良いのか少し迷う。
- 祖父母も含めることで良い。家族ということで祖父母も入れるイメージがある。

(d) 検討結果

18) 共食 あなたのお子さんは、普段どのように夕食をとっていますか。

0 家族そろって食べる 0 おとなの家族の誰かと食べる 3 子どもだけで食べる

4 一人で食べる

(ト) スクリーンタイム

(a) 検討前の質問

19) スクリーンタイム あなたのお子さんは普段、テレビやタブレット、スマートフォン等を1日にどのくらい見えていますか。

4：1日4時間以上、3：1日3時間台、2：1日2時間台、1：1日1時間台、0：1日1時間未満

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 22 に示す。

表 22. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2

専門部会のコメント

[B] 研究との関連がわからず、少し唐突である。

[L] 平日と休日でスクリーンタイムは、異なることもあるので、週平均等とした方が回答しやすい。

(c) 研究班のコメント

- 普段→平日に変更するべきかもしれない。

(d) 検討結果

19) **スクリーンタイム** あなたのお子さんは普段、テレビやタブレット、スマートフォン等を1日にどのくらい見ていますか。

4 : 1日4時間以上 3 : 1日3時間台

2 : 1日2時間台 1 : 1日1時間台

0 : 1日1時間未満

(ナ) 安心感

(a) 検討前の質問

20) **安心感** あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

0 : はい、4 : いいえ、2 : 何ともいえない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 23 に示す。

表 23. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	2	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4
簡便性	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	3	2

専門部会のコメント

[B] 研究との関連がわからず、少し唐突である。

[D] はい、いいえよりは頻度で質問した方が答えやすい。

[I] 質問文に「平日に」を入れて、平日に限定した問いにしても良い。あるいは、回答に「平日はない」を入れてもよいかもしれない。

[K] 選択肢番号の順序が気になった。

(c) 研究班のコメント

- 健診でもよく使われる項目なので、現状のままで、フォーカスグループインタビューで伺う。

(d) 検討結果

20) **安心感** あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

0 : はい 4 : いいえ 2 : 何ともいえない

(ニ) 体重に関する認識

(a) 検討前の質問

21) **体重に関する認識** あなたは、お子さんの体重についてどのように認識していますか。

3：太っている、0：適正体重である、3：やせている、4：よくわからない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 24 に示す。

表 24. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	3	3
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	4

専門部会のコメント

[G] 栄養不足をスクリーニングする目的であれば太っていると痩せているが同じリスクであるのは違和感がある。

[H] 「適正体重」は「ちょうどよい」等のようにわかりやすい方がよい。

[I] 20) 21)22)の問題の配列に少々違和感を感じた。この 21)は、11)12) の近辺に入れてはどうか。

[K] 選択肢番号の順序が気になった。

(c) 研究班のコメント

- 21（体重の認識）の問題は、11、12の後でも良いかもしれないという意見があるので確認が必要である。
- 評価なので、ここは入れておく。
- 11 と 12 の間の方が連続性が出る。

(d) 検討結果

21) **体重に関する認識** あなたは、お子さんの体重についてどのように認識していますか。

➡順番は 11 と 12 の間に入れる。

3：太っている 0：適正体重である (ちょうど良い) 3：やせている 4：よくわからない

(ヌ) 経済状況

(a) 検討前の質問

22) **経済状況** あなたは、現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じていますか。

0：大変ゆとりがある、0：ややゆとりがある、0：普通、2：やや苦しい、4：大変苦しい

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 25 に示す。

表 25. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	2	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	3
簡便性	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4

専門部会のコメント

[B] 研究との関連がわからず、少し唐突である。

[C] 必要な項目であると理解するが、行政保健師としては、経済的な項目については、対象者を見てたずねるかどうか判断したいのではないかと。

[I] 「総合的に」がわかりにくい。総合的な経済状態というより「子育てをする上で、現在の暮らしの経済的状況をどう感じているか」の方が答えやすい。

[J] 乳幼児を育てていて経済的に「大変ゆとりがある」世帯はあるか。順序を逆

にした方がよい（大変苦しい→大変ゆとりがある）。

(c) 研究班のコメント

- 既存の問診の回答順番と同じ

(d) 検討結果

22) **経済状況** あなたは、現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じていますか。

0：大変ゆとりがある 0：ややゆとりがある 0：普通 2：やや苦しい
4：大変苦しい

(ネ) 1歳6か月～3歳未満児用の質問票案全体を通しての改善点、感想、コメント等

以下に改善点、感想、コメント等を示す。

[A] 幼児の場合、食事状況にはムラがあることが想定される。確認だが「11) 食事の問題」や「12) 咀嚼・嚥下の問題」の内容は今回の質問票では困りごとの内容には着目しないということか。また、上記設問項目内容は質問紙調査後の2次質問として、個別の育児相談につなぐ際のスクリーニングの項目にも活用できるのではないかな。

[B] ・実際回答する保護者への研究依頼・説明文が添付されていると、保護者への説明内容についても検討できたのではないかな。例えば、このアンケートと母子カードの身長や体重等体格のデータ、月齢、性別等と突合して分析させていただく等である。

・全体的に、選択する項目番号が、重みづけのナンバリングになっているのか、順序がなく見にくい。普通に、1、2、3、4、5の方が良い。

[D] この学齢期では、保育所や子ども園に通園している子どもがいるので、保育所や子ども園での食事も含むといった注意書きがあると良い。

[E] 条件が限られている中で、よく練られて厳選されている。

[G] 「栄養不良」は栄養不足と考えて良いか。質問内容に過栄養状態もスクリーニングしようとしている印象があるがどうか。点数に関してはその根拠となる情報がなため判断ができない。

[H] 一般の親を想定した質問であればもっと簡単な表現を心掛けた方がよい。

[I] ・小麦粉、牛乳、卵は、アレルギー児も多いので、1)2)6)の項目だけでも、「5 アレルギーのため食べない」の選択肢があっても良い（『ほとんど食べない』と『食べさせられない』は異なる）。

・最近の小さい子は、どの位の頻度でレトルト食品を食べているのか気になる。

便利で栄養バランスもよく、頻繁に出回っていますが、味が濃い目であったり、喉ごしがよくあまり噛まなくてよかったです印象がある。

[J] 全体的に：「給食」はどのように考えるか。ご自宅での食事限定してお尋ねします、だろうが（指示があるかもしれないが）。また、栄養上、必要だとわかっている「アレルギーがあるため食べない、飲まない」ということ

もある。その選択肢がある（回答者に配慮できている）方が、回答時の苦痛は低減されるのではないかな。

[K] 近年、食物アレルギーに悩む保護者が増えている。栄養価の代替として、困り感を探り出せる回答群があると、良いかもしれない。

保育園児の場合には、保育園と家庭とでは、かなり食生活に差があるものと想定される。そのあたりと終日家庭で育つ未就園児と一緒に評価して良いかどうか検討が必要である。

[L] 全体を通して選択肢にも数字が多いことと、点数が順不同の為わかりにくい。表記方法に修正が必要ではないかな。

（４）３歳～５歳児用の質問票案

日本版栄養スクリーニングの内容検討

（検討後改変した箇所を下線で示す。）

（ア）導入文

（a）検討前の文

1) ～22) について、お子様の状況について最もあてはまる選択肢を一つだけ選んでください。

（b）専門部会の評価とコメント

専門部会開催後に作成されたため、評価とコメントはない。

（c）研究班のコメント

- 研究班では、平日と休日合わせた平均的な食生活・生活習慣を聞いている想定であったが、「週 7 想定」と明記していなかった（スクリーンタイムに関しては、平日と休日で大きく異なる可

能性があるため、平日のみをイメージしている）。

- 保育所の給食についての扱いが不明瞭である、と専門部会の全体の自由記述欄で記載がある。

（d）検討結果

1) ～22) について、お子様の状況について最もあてはまる選択肢を一つだけ選んでください。

＜注意事項＞ご自宅のお食事だけでなく、保育園等の給食も含んだ内容で回答をしてください。

（イ）穀類

（a）検討前の質問

1) **穀類** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で穀類（ごはん、パン、麺類、シリアル等）を食べていますか。

1：1日に5回以上、0：1日に3～4回、2：1日に2回、3：1日に1回、4：ほとんど食べない

（b）専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 26 に示す。

表 26. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	2	4	3	3	3
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	2	4

専門部会のコメント

[H] 日本人の食習慣において穀物を摂取しない食事の回数は少なく、間食含め摂取回数が増えることはあまり無いように考えるため、選択肢を0、1、2、3、4以上とした方が良いと考える。「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきである。

[I] 3歳未満児より更に、量の差が大きいのではないか。

[J] シリアル：グラノーラもオートミールも糖分が高い。穀類の加工商品のため、穀類である米やパンと同列にできないのではないか。

[K] いも類の定義を明示しておくが良い。選択肢番号の順序に若干の違和感がある。

(c) 研究班のコメント

- 「頻度」という表現が、「何回」等の平易な表現の方が良いのか検討が必要である。フォーカスグループインタビューで確認する。
- 改めてみると長い。蒸しパン・あんパン等はどうか。
- チョコパンとクリームパンは入れない。

(d) 検討結果

1) **穀類** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で穀類（ごはん、パン（あんパン・蒸しパン等を除く）、麺類、シリアル等）を食べていますか。

1：1日に5回以上、0：1日に3～4回、2：1日に2回、3：1日に1回、4：ほとんど食べない

(ウ) 牛乳・乳製品

(a) 検討前の質問

2) **牛乳・乳製品** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で牛乳・乳製品（粉ミルク、チーズ、ヨーグルト等）を食べたり飲んだりしていますか。

0：1日に3回以上、1：1日に2回、2：1日に1回、4：ほとんど食べない（飲まない）

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 27 に示す。

表 27. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4

専門部会のコメント

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

[I] 1)の小麦粉、2)牛乳、7)卵はアレルギーがあるかたずねてはどうか。

[J] ヤクルトは調べたところ「乳製品乳酸菌飲料」となっている。例示に含めてはどうか。

(c) 研究班のコメント

現状のままで、フォーカスグループインタビューで伺う。

(d) 検討結果

2) **牛乳・乳製品** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で牛乳・乳製品（粉

ミルク、チーズ、ヨーグルト等) を食べたり飲んだりしていますか。

0 : 1 日に 3 回以上、1 : 1 日に 2 回、2 : 1 日に 1 回、4 : ほとんど食べない (飲まない)

(エ) 野菜

(a) 検討前の質問

3) **野菜** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で野菜を食べていますか。

0 : 1 日に 3 回以上、1 : 1 日に 2 回、2 : 1 日に 1 回、4 : ほとんど食べない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 28 に示す。

表 28. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	4
明確性	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	2	4
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	2	4

専門部会のコメント

[G] 果実的な野菜の扱いに関して記載があると良い。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

[K] 野菜と果物とでは、食す頻度に差異が確実にあるのではないか。

(c) 研究班のコメント

- いも類は野菜の中に入れるか、明記しなくて良いか検討が必要である。
- フォーカスグループインタビューで確認する。

- 念のため、いもは野菜という認識か聞いてみても良いかもしれない。専門委員のコメントではいも類がここに入るのか否かのコメントがあった。

(d) 検討結果

3) **野菜** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で野菜を食べていますか。

0 : 1 日に 3 回以上 1 : 1 日に 2 回

2 : 1 日に 1 回 4 : ほとんど食べない

(オ) 果物

(a) 検討前の質問

4) **果物** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で果物を食べていますか。

0 : 1 日に 2 回以上、2 : 1 日に 1 回、4 : ほとんど食べない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 29 に示す。

表 29. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	2	4
明確性	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	2	4
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	3	4

専門部会のコメント

[G] 果実的な野菜の扱いに関して記載があると良い。

[H] 果物を摂取しないことは栄養状態に非常に強い関連性が出るか。たとえばビタミン C 等は他の食材でも摂取できるのではないか。全く食べない、の点数

はもう少し低くてもよいのではない
か。

[K] 週に 1 日と 1 回の違いが不明瞭であ
る。

(c) 研究班のコメント

現状のままで、フォーカスグループインタ
ビューで伺う。

(d) 検討結果

4) [果物] あなたのお子さんは普段、どの
くらいの頻度で果物を食べていますか。

0 : 1 日に 2 回以上、2 : 1 日に 1 回、4 :
ほとんど食べない

(カ) 魚

(a) 検討前の質問

5) [魚] あなたのお子さんは普段、どのく
らいの頻度で魚を食べていますか。

0 : 毎日 1 回以上、1 : 週に 4~6 日、2 :
週に 1~3 日、4 : 週に 1 回未満

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 30 に示す。

表 30. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関 連 性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	4
明 確 性	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	2	4
簡 便 性	4	4	4	4	3	4	3	3	4	4	3	4

専門部会のコメント

[B] 大豆は、大豆製品と書いているが、魚
のお菓子等、魚の加工品は含むのか。

[E] 「4:週に 1 回未満」の表現について、
意味が若干不明瞭ではないか。「ほと
んど食べない」の意味か、「月に 1~
2 回」の意味か。どちらであっても同
レベルと判断されているのであれば、
異存はない。「週に 1 回未満」の表現
が保護者にとってわかりにくいかもしれ
ない。

[G] 魚肉ソーセージ等の加工品をどうする
か記載があっても良いかもしれない。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表
現に変えるべきではないか。

[K] 週に 1 日と 1 回の違いが不明瞭であ
る。

(c) 研究班のコメント

- かまぼこやちくわ、魚肉ソーセージ等
の加工品は含まないイメージがある。
- 週に 1 日と 1 回の違いが不明瞭という
意見があり、混乱しないかフォーカス
グループインタビューで確認する。
- 「ほとんど食べない」にしなくても、
選択肢を読んでいけば、他の選択肢に
ならなければこれを選ぶ。

(d) 検討結果

5) [魚] あなたのお子さんは普段、どのく
らいの頻度で魚を食べていますか。

0 : 毎日 1 回以上、1 : 週に 4~6 日、2 :
週に 1~3 日、4 : 週に 1 回未満

(キ) 肉

(a) 検討前の質問

6) [肉] あなたのお子さんは普段、どのく
らいの頻度で肉類を食べていますか。

0：毎日1回以上、1：週に4～6日、2：週に1～3日、4：週に1回未満

(b) 専門部会の評価とコメント
専門部会の評価は表31に示す。

表31. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	3	4
簡便性	4	4	4	4	3	4	3	3	4	4	3	4

専門部会のコメント

[E] 「4:週に1回未満」の表現について、意味が若干不明瞭ではないか。「ほとんど食べない」の意味か、「月に1～2回」の意味か。どちらであっても同レベルと判断されているのであれば、異存はない。「週に1回未満」の表現が保護者にとってわかりにくいかもしれない。

[G] 加工肉の扱いに関して記載があっても良い。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

[K] 週に1日と1回の違いが不明瞭である。

(c) 研究班のコメント

- 肉類には、ソーセージ、ハム、ベーコンも含んで構わないイメージだが、明記はしない。

(d) 検討結果

6) ☐ 肉 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で肉類を食べていますか。

0：毎日1回以上、1：週に4～6日、2：週に1～3日、4：週に1回未満

(ク) 卵

(a) 検討前の質問

7) ☐ 卵 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で卵を食べていますか。

0：毎日1回以上、1：週に4～6日、2：週に1～3日、4：週に1回未満

(b) 専門部会の評価とコメント
専門部会の評価は表32に示す。

表32. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	2
明確性	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	3	2
簡便性	4	4	4	4	3	4	3	3	4	4	3	4

専門部会のコメント

[B] 大豆は、大豆製品と書いているが、卵の加工品は含むのか。

[E] 「4:週に1回未満」の表現について、意味が若干不明瞭ではないか。「ほとんど食べない」の意味か、「月に1～2回」の意味か。どちらであっても同レベルと判断されているのであれば、異存はない。「週に1回未満」の表現が保護者にとってわかりにくいかもしれない。

[G] 加工品の扱いに関して記載があっても良い。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

[K] 週に1日と1回の違いが不明瞭である。

[L] 卵に関しても頻度より個数の方がわかりやすい。

(c) 研究班のコメント

現状のままで、フォーカスグループインタビューで伺う。

(d) 検討結果

7) **卵** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で卵を食べていますか。

0: 毎日1回以上、1: 週に4~6日、2: 週に1~3日、4: 週に1回未満

(ケ) 大豆・大豆製品

(a) 検討前の質問

8) **大豆・大豆製品** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で大豆や大豆製品を食べていますか。

0: 毎日1回以上、1: 週に4~6日、2: 週に1~3日、4: 週に1回未満

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表33に示す。

表33. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
明確性	4	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	3
簡便性	4	4	3	4	3	4	4	3	4	4	4	4

専門部会のコメント

[C] 多くの保護者の方は理解できると思うが、大豆製品の説明があるとよりわかりやすい。

[D] 大豆製品の例を記載した方がわかりやすい。

[E] 「4:週に1回未満」の表現について、意味が若干不明瞭ではないか。「ほとんど食べない」の意味か、「月に1~2回」の意味か。どちらであっても同レベルと判断されているのであれば、異存はない。

「週に1回未満」の表現が保護者にとってわかりにくいかもしれない。

[F] 「大豆製品（豆腐、納豆等）」としてはどうか。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。質問文の大豆・大豆製品の内容を具体的に示した方がよい（例：豆腐、納豆等）。

(c) 研究班のコメント

- 例示が長いが、現代の母親は豆腐、納豆等ではわからないのではないか。
- 油揚げはメインディッシュになりにくいので削除した。例示は3つで良いかと感じる。

(d) 検討結果

8) **大豆・大豆製品** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で大豆や大豆製品（豆腐、納豆、厚揚げ等）を食べていますか。

0: 毎日1回以上、1: 週に4~6日、2: 週に1~3日、4: 週に1回未満

(コ) ファストフード

(a) 検討前の質問

9) **ファストフード** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度でファストフード（ハンバーガー、フライドポテト、チキンナゲット等）を外食もしくはテイクアウトで食べていますか。

4：週に4回以上、3：週に2～3回、2：週に1回、1：月に数回、0：月に1回以下

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表34に示す。

表34. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4

専門部会のコメント

[G] 自宅で作成するものに関しては対象外として良いのか。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきである。

[L] 子どもにより、一日、複数回食べる場合もあるが、質問は週でお聞きする調査でよい。

(c) 研究班のコメント

現状のままで、フォーカスグループインタビューで伺う。

(d) 検討結果

9) **ファストフード** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度でファストフード（ハンバーガー、フライドポテト、チキン

ナゲット等）を外食もしくはテイクアウトで食べていますか。

4：週に4回以上 3：週に2～3回

2：週に1回 1：月に数回 0：ほとんど食べない

(サ) 菓子

(a) 検討前の質問

10) **菓子** あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で甘いおやつ（砂糖を含むアメ、チョコレート、クッキー、菓子パン等）を食べていますか。

4：1日に5回以上、3：1日に3～4回、2：1日に2回、1：1日に1回、0：ほとんど食べない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表35に示す。

表35. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	3	4	3	3	3	4
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	2

専門部会のコメント

[G] 菓子パンの定義、菓子パンを食事として食べている場合等の記載方法が書かれていると良い。

[H] 間食において、甘いものも重要だがスナック菓子も脂質の摂取量の問題もあり、質問項目として重要と考える。例に「菓子パン」を挙げているが、穀物のところで「パン」が挙げられているの

で、この重複はデータの解析に問題が出るのではないか。

「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきではないか。

[I] 食事に気を遣い、甘さを抑えた手作り菓子を食べさせる家庭もあるので、ここは「市販の甘いお菓子」と限定しても良い。

[J] 菓子パンは 1) 穀類ではなく 10) 菓子だろうか。菓子パンがはいっていると回答者が混乱しないだろうか。

[K] ゼリーやハッピーターンは、これに含まれるか。

[L] 保育園に通っている場合、やや解答しづらいのではないか。

(c) 研究班のコメント

- 改めて見てみると長い。蒸しパン・あんパン等はどうか。
- スティックパンは穀類のイメージ（栄養表示でパンになる）がある。
- スナック類はポテトチップス、おせんべい、いもけんぴ等をイメージする。
- チョコパンとクリームパンは入れない。

(d) 検討結果

10) 菓子 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で市販の甘いお菓子（砂糖を含むアメ、チョコレート、クッキー、ケーキ、ドーナツ、あんパン・蒸しパン等）やスナック類を食べていますか。

4：1日に5回以上 3：1日に3～4回
2：1日に2回 1：1日に1回 0：ほとんど食べない

(シ) 甘味飲料

(a) 検討前の質問

11) 甘味飲料 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で甘い飲み物（乳酸飲料、ジュース(果汁 100%の飲料を除く)、スポーツドリンク等）を飲んでいますか。
4：1日に5回以上、3：1日に3～4回、
2：1日に2回、1：1日に1回、0：ほとんど飲まない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 36 に示す。

表 36. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	4	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
簡便性	4	4	3	4	4	4	4	3	4	4	4	4

専門部会のコメント

[C] 多くの保護者の方は理解できると思うが、乳酸飲料がわからない方がいるかもしれない。

[H] 「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきである。

[J] 果汁 100%の飲料を除く、ここに下線をひいてはどうだろうか。

(c) 研究班のコメント

- 乳酸を乳酸菌に修正する。

(d) 検討結果

11) 甘味飲料 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で甘い飲み物（乳酸菌飲料、ジュース(果汁 100%の飲料を除く)、スポーツドリンク等）を飲んでいますか。

4：1日に5回以上、3：1日に3～4回、
2：1日に2回、1：1日に1回、0：ほと
んど飲まない

(ス) 食事の問題

(a) 検討前の質問

12) **食事の問題** あなたは、お子さんの食
事について偏食、食べすぎ、小食で困るこ
とがありますか。

4：ほとんどの食事で困る、2：時々ある、
1：まれにある、0：ほとんどない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 37 に示す。

表 37. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関 連 性	4	4	4	4	4	4	2	4	3	4	3	4
明 確 性	3	4	3	4	4	3	4	4	3	2	3	3
簡 便 性	4	4	3	4	4	4	4	2	3	4	3	3

専門部会のコメント

[A] 「偏食、食べすぎ、小食」3つの表現
の記載があるが、低年齢ほど食事の状
況は一定していないこともあるため、
該当する内容が1つとは限らないと考
えられるので「偏食、食べすぎ、小食
等・・・」としてもよいのではないかな。

[C] 選択肢の「ほとんどの食事で困る」
が、頻度なのか、種類なのか、他の選
択肢をみれば頻度とわかるが不明瞭で
ある。

[D] 偏食、食べすぎ、小食のいずれかの問
題があるかは把握できるが、どの問題

かは把握する必要がないということで
良いかな。

[F] 「偏食、食べすぎ、小食等で」と「13)
咀嚼・嚥下の問題」と同じ記載が良
い。

[G] 栄養不良の調査に「食べ過ぎて困る」
と「少食で困る」が同じ点数であるの
は違和感がある。

[H] 「ほとんど」、「時々」、「まれに」
の定義がわからない。

[I] 保護者が困っているかどうかではな
く、「偏食、食べ過ぎ、少食」の子ど
もの状態をたずねるべきではないかな。
偏食でも調理法を工夫している保護者
はさほど困っていないかもしれない。

[J] 「偏食はありますか」と「食べ過ぎや
小食はありますか」は質問を別にした
ほうが良い。

[K] 選択肢番号が欠損している。時々とま
れのニュアンスが混合する。

[L] 「時々」と「まれ」の違いがわかりづ
らい。

(c) 研究班のコメント

- 回答欄を改善する。

(d) 検討結果

12) **食事の問題** あなたは、お子さんの食
事について偏食、食べすぎ、小食で困るこ
とがありますか。

4：いつも困る、2：時々困る、1：あまり
困らない、0：全く困らない

(セ) 咀嚼・嚥下の問題

(a) 検討前の質問

- 13) **咀嚼・嚥下の問題** あなたは、お子さんの食事について噛めない、飲み込めない、むせる等で困ることがありますか。
4：ほとんどの食事で困る、2：時々ある、1：まれにある、0：ほとんどない

(b) 専門部会の評価とコメント
専門部会の評価は表 38 に示す。

表 38. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4
明確性	4	4	3	4	4	4	4	4	3	4	3	4
簡便性	4	4	3	4	4	4	4	2	4	4	3	4

専門部会のコメント

- [C] 選択肢の「ほとんどの食事で困る」が、頻度なのか、種類なのか、他の選択肢をみれば頻度とわかるが不明瞭である。
- [H] 「ほとんど」、「時々」、「まれに」の定義がわからない。
- [I] 12) 同様に、保護者が困っているかではなく、子どもの状態を聞く必要があるのではないか。
- [K] 選択肢番号が欠損している。時々とまれのニュアンスが混合する。

- (c) 研究班のコメント
- 回答欄を改善する。

(d) 検討結果

- 13) **咀嚼・嚥下の問題** あなたは、お子さんの食事について噛めない、飲み込めない、むせる等で困ることがありますか。

- 4：いつも困る 2：時々困る 1：あまり困らない 0：全く困らない

(ソ) 食事時の空腹

(a) 検討前の質問

- 14) **食事時の空腹** あなたのお子さんは、どのくらいの頻度で食事の時に空腹を空かせていますか。

- 0：いつも、1：ほとんどの場合、2：時々、3：まれに、4：ほとんどない

(b) 専門部会の評価とコメント
専門部会の評価は表 39 に示す。

表 39. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4
明確性	4	3	4	3	3	3	4	4	4	4	3	3
簡便性	4	4	4	3	3	4	2	2	4	4	3	3

専門部会のコメント

- [B] 「食事の時に」というより、「食事開始時」だろうか。
- [D] 朝食時はお腹を空かせていないが、夕食時は空かせているといった場合に、1 食でも空腹感があればいつもと回答してもよいのか。
- [E] 「0:いつも」と「1:ほとんどの場合」について、1 点の差までであるのか。「0:いつも」と「1:ほとんどの場合」について、保護者は両項目の差を理解できるか。
- [F] 「食事の前に「お腹が空いた」と言いますか」とするのはどうか。

[G] 「お腹を空かせているかわからない」という人が、少ないと思うが、いるはずである。

[H] 「ほとんど」、「時々」、「まれに」の定義がわからない、「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきである。

[I] 食事時間が規則正しいことが前提になっている気がするが、家庭によっては、食事時間自体が不規則な家庭もある。食事時間を聞くと良いが、プライバシーに入り込みすぎか。

(c) 研究班のコメント

- 「お腹を空かせているかわからない」という人がいると思うというご意見があり、フォーカスグループインタビューで確認する。
- 愛知県の調査項目に入っている。
- 「食事の前に「お腹が空いた」と言いますか」とするのはどうか、という意見もある。→愛知県の調査項目に入っているので基本このままとする。
- 1と2の区別がつきづらいかもしれない。時々は空いているけど、あまり空いていない。13)のように、いつも、時々、全く、にして、全くと同点で「わからない」を入れるのはどうか。

(d) 検討結果

15) **食事時の空腹** あなたのお子さんは、どのくらいの頻度で食事の時に空腹を空かせていますか。

0：いつも空かせている 1：時々空かせている 2：あまり空かせていない
4：全く空かせていない

(タ) 食事回数

(a) 検討前の質問

15) **食事回数** あなたのお子さんは普段、1日に食事とおやつを合わせて何回食べますか。

4：1日1回以下、3：1日2回、1：1日3回、0：1日4～5回、2：1日6回以上

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表40に示す。

表40. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4

専門部会のコメント：特になし。

(c) 研究班のコメント

現状のままで、フォーカスグループインタビューで伺う。

(d) 検討結果

16) **食事回数** あなたのお子さんは普段、1日に食事とおやつを合わせて何回食べますか。

4：1日1回以下、3：1日2回、1：1日3回、0：1日4～5回、2：1日6回以上

(チ) ながら食べ

(a) 検討前の質問

16) **ながら食べ** あなたのお子さんは、どのくらいの頻度でテレビやタブレット、ス

スマートフォン等を見ながら、食事を食べますか。

4：いつも、3：ほとんどの場合、2：時々、1：まれに、0：全くしない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 41 に示す。

表 41. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	3	4

専門部会のコメント

[H] 「いつも」、「時々」、「まれに」の定義がわからない、「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきである。

[J] 自分で「タブレット、スマートフォン等を見たりおもちゃで遊んだり」と、「親等に、本を読んでもらったり（本を読んでもらわないと食べない？）は、分けて尋ねてはどうか。

[K] 選択肢番号の順序が気になった。

(c) 研究班のコメント

- 保育所ではながら食べはないので、ここは家庭に限定した方が良いのではないかという意見がある。
- あなたのお子さんは、「ご家庭で」・・・と入れたほうがスムーズに読める。

(d) 検討結果

17) ながら食べ あなたのお子さんはご家庭で、どのくらいの頻度でテレビやタブレット、スマートフォン等を見ながら、食事を食べますか。

4：いつもしている 2：時々している

1：あまりしない 0：全くしない

(ツ) 共食

(a) 検討前の質問

17) 共食 あなたのお子さんは、どのくらいの頻度で夕食を一人で食べることがありますか。

4：いつも、3：ほとんどの場合、2：

時々、1：まれに、0：全くしない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 42 に示す。

表 42. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	3	4
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	3	4

専門部会のコメント

[G] 1人で食べる、ことの定義があっても良い（母親が同じテーブルに座って、時々食べさせて、テレビを見ている、状況等を含むのかどうか等）。

[H] 「いつも」、「時々」、「まれに」の定義がわからない、「頻度」は「何回」等もっと簡単な表現に変えるべきである。

[J] 母親が食べさせているが、母親は父親が帰宅後に一緒に食事をするために食べていないときは「一人で食べる」になるのか（栄養的には問題がないと思われる）。 「（用意された料理を）一人で食べる」の定義を明確にしたほうが良い。

[K] 選択肢番号の順序が気になった。

(c) 研究班のコメント

- 乳幼児栄養調査と同じ質問（乳幼児栄養調査では、朝食と夕食を分けている）である。
- 回答欄に「その他」もある。
- 「あなたのお子さんは、普段どのように夕食をとっていますか。」でどうか。
- この問題・選択肢について、フォーカスグループインタビューで確認する。
- 祖父母が同居していたら、祖父母も含めるか。
- 祖父母も含めて良い。また、乳幼児栄養調査と同じだが、「母親が夕食を作っていて、母親は遅い帰宅の父親を待っていただくけれども、子どもに先に食べさせ、母親は同じテーブルにいる」という状況が4になってしまうところが良いのか少し迷う。
- 祖父母は含める、で良い。家族ということで祖父母も含める。

(d) 検討結果

18) **共食** あなたのお子さんは、普段どのように夕食をとっていますか。

0：家族そろって食べる、0：おとなの家族の誰かと食べる、3：子どもだけで食べる、4：一人で食べる

(テ) 身体活動

(a) 検討前の質問

18) **身体活動** あなたのお子さんは、保育所等の活動も含め、どのくらい運動（外遊びも含む）をしていますか。

0：1週間に5日より多くしている、1：1週間に3～4日している、2：1週間に1～2日している、4：していない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表43に示す。

表43. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
明確性	4	3	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4
簡便性	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4

専門部会のコメント

[B] 運動（外遊びも含む）が何を指すか迷うかもしれない。運動（@@、@@、@@、@@等）、という例示があると良い。

[E] 「0:1週間に5日より多くしている」の表現が読みづらい。回答群からすると、質問文は、「・・・どのくらいの頻度で運動（外遊びも含む）を・・・」ではないか。

[F] 「運動」の定義を示したほうが回答しやすい。

[G] 4は「1週間に1日未満」の選択肢が良い。

(c) 研究班のコメント

- 文言等を修正する。

(d) 検討結果

19) **身体活動** あなたのお子さんは、保育所等の活動も含め、どのくらいの頻度で運動（外遊びも含む）をしていますか。

0：1週間に5日以上している、1：1週間に3～4日している、2：1週間に1～2日している、4：1週間に1日未満

(ト) スクリーンタイム

(a) 検討前の質問

19) **スクリーンタイム** あなたのお子さんは普段、テレビやタブレット、スマートフォン等を1日にどのくらい見ていますか。

4：1日5時間以上、3：1日4時間台、2：1日3時間台、1：1日2時間台、0：1日1時間以下

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表44に示す。

表44. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2

専門部会のコメント

[B] 19)20)22)が研究との関連がわからず、少し唐突である。

[L] 平日と休日でスクリーンタイムは、異なることもあるので、週平均等とした方が回答しやすい。

(c) 研究班のコメント

- 就寝時間はほとんどの子が夜更かし

(22 時以降の就寝) なのでスクリーニングに使える。

- 普段→平日に変更する。

(d) 検討結果

19) **スクリーンタイム** あなたのお子さんは平日、テレビやタブレット、スマートフォン等を1日にどのくらい見えていますか。

4：1日5時間以上、3：1日4時間台、2：1日3時間台、1：1日2時間台、0：1日1時間以下

(ナ) 安心感

(a) 検討前の質問

20) **安心感** あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。
0：はい、4：いいえ、2：何ともいえない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表45に示す。

表45. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	2	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4
簡便性	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	3	2

専門部会のコメント

[B] 19)20)22)が研究との関連がわからず、少し唐突である。

[D] はい、いいえよりは頻度で質問した方が答えやすい。

[I] 質問文に「平日に」を入れて、平日に限定した問いにしても良い。あるいは

は、回答に「平日はない」を入れても良い。

[K] 選択肢番号の順序が気になった。

(c) 研究班のコメント

現状のままで、フォーカスグループインタビューで伺う。

(d) 検討結果

21) **安心感** あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

0：はい、4：いいえ、2：何ともいえない

(二) 体重に関する認識

(a) 検討前の質問

21) **体重に関する認識** あなたは、お子さんの体重についてどのように認識していますか。

3：太っている、0：適正体重である、3：やせている、4：よくわからない

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 46 に示す。

表 46. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
関連性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4
明確性	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	3	3
簡便性	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	4

専門部会のコメント

[G] 栄養不足をスクリーニングする目的であれば太っていると痩せているが同じリスクであるのは違和感がある。

[H] 「適正体重」は「ちょうどよい」等のようにわかりやすい方が良い。

[I] 20)21)22)の問題の配列にちょっと違和感を感じた。この 21)は、11)12)の近辺に入れてはどうか。

[K] 選択肢番号の順序が気になった。

(c) 研究班のコメント

- 21（体重の認識）の問題は、12、13の後でも良い、という意見がある。
- 評価なので、ここは入れておく。
- 12 と 13 の後の方が連続性は出ると思う。

(d) 検討結果

21) **体重に関する認識** あなたは、お子さんの体重についてどのように認識していますか。

➡ 順番は、13 の後の 14 番目とする。

3：太っている、0：適正体重である（ちょうどよい）、3：やせている、4：よくわからない

(ヌ) 経済状況

(a) 検討前の質問

22) **経済状況** あなたは、現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じていますか。

0：大変ゆとりがある、0：ややゆとりがある、0：普通、2：やや苦しい、4：大変苦しい

(b) 専門部会の評価とコメント

専門部会の評価は表 47 に示す。

表 47. 専門部会の評価

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

関連性	4	2	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4
明確性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	3
簡便性	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

専門部会のコメント

- [B] 19)20)22 が研究との関連がわからず、少し唐突である。
- [C] 必要な項目であると理解するが、行政保健師としては、経済的な項目については、対象者を見てたずねるかどうか判断したいのではないかな。
- [I] 「総合的に」がわかりにくかった。総合的な経済状態というより「子育てをする上で、現在の暮らしの経済的状況をどう感じているか」の方が答えやすい。
- [J] 乳幼児を育てていて経済的に「大変ゆとりがある」世帯はあるか。順序を逆にした方がよいだろうか（大変苦しい→大変ゆとりがある）。
- (c) 研究班のコメント
- 既存の問診の回答順番と同じである。
- (d) 検討結果
- 22) 経済状況 あなたは、現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じていますか。
- 0：大変ゆとりがある、0：ややゆとりがある、0：普通、2：やや苦しい、4：大変苦しい
- (ネ) 3 歳～5 歳児用の質問票案全体を通しての改善点、感想、コメント等

以下に改善点、感想、コメント等を示す。

- [A] 「18) 身体運動活動」は、1 歳 6 か月～3 歳未満児用にはなかったが、一人歩き後は外遊びの時間があると思うが、あえて月齢により質問項目内容が違うのか。両方の質問票にあってもよいのではないかな。
- [B] 1 歳 6 か月～3 歳未満児用の質問票（案）と同じコメントである。
- [D] 身体活動に関する設問のみ、保育所等の活動を含めと記載されているので、他の設問は保育所での食事はのぞくと誤解する保護者がいるのではないかな。保育所や子ども園での食事も含むといった注意書きがあると良い。
- [E] 条件が限られている中で、よく練られて厳選されている。
- [G] 点数化して合計点で評価を行う場合、その根拠となる情報が欲しい。
- [H] 一般の親を想定した質問であればもっと簡単な表現を心掛けた方が良い。
- [I] 気になった点は、1 歳 6 か月～3 歳未満児用の質問票（案）までの内容と同じである。
- [J] 1 歳 6 か月～3 歳未満児用の質問票（案）とほぼ同様の感想である。
- [K] 1 歳 6 か月～3 歳未満児用の質問票（案）とほぼ同様の感想である。
- [L] 1 歳 6 か月～3 歳未満児用の質問票（案）と同様の評価である。

（６）検討後の質問票案

下記に検討後の質問項目を示す（表 48、表 49）。

表 48. 1 歳 6 か月～3 歳未満児対象の質問項目

※各選択肢に付している数字は選択肢番号ではなく、評点である。評点は、最も望ましい状態を 0 点とし、点数が高いほど望ましくない状態を表すこととした。

日本版栄養スクリーニング <1 歳 6 か月～3 歳未満児対象>

1) ～22) について、お子さんの状況について最もあてはまる選択肢を一つだけ選んでください。

<注意事項> ご自宅のお食事だけでなく、保育園等の給食も含んだ内容で回答をしてください。

1) 穀類 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で穀類（ごはん、パン（あんパン・蒸しパン等を除く）、麺類、シリアル等）を食べていますか。

1：1 日に 5 回以上 0：1 日に 3～4 回 2：1 日に 2 回 3：1 日に 1 回 4：ほとんど食べない

2) 牛乳・乳製品 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で牛乳・乳製品（粉ミルク、チーズ、ヨーグルト等）を食べたり飲んだりしていますか（授乳している場合は母乳も含みます）。

0：1 日に 3 回以上 1：1 日に 2 回 2：1 日に 1 回 4：ほとんど食べない（飲まない）

3) 野菜・果物 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で野菜や果物を食べていますか。

0：1 日に 3 回以上 2：1 日に 2 回 3：1 日に 1 回 4：ほとんど食べない

4) 魚 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で魚を食べていますか。

0：毎日 1 回以上 1：週に 4～6 日 2：週に 1～3 日 4：週に 1 回未満

5) 肉 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で肉類を食べていますか。

0：毎日 1 回以上 1：週に 4～6 日 2：週に 1～3 日 4：週に 1 回未満

6) 卵 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で卵を食べていますか。

0：毎日 1 回以上 1：週に 4～6 日 2：週に 1～3 日 4：週に 1 回未満

7) 大豆・大豆製品 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で大豆や大豆製品（豆腐、納豆、厚揚げ等）を食べていますか。

0：毎日 1 回以上 1：週に 4～6 日 2：週に 1～3 日 4：週に 1 回未満

8) ファストフード あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度でファストフード（ハンバーガー、フライドポテト、チキンナゲット等）を外食もしくはテイクアウトで食べていますか。

4：週に3回以上 2：週に2回 1：週に1回 0：ほとんど食べない

9) 菓子 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で市販の甘いお菓子（砂糖を含むアメ、チョコレート、クッキー、ケーキ、ドーナツ、あんパン・蒸しパン）やスナック類を食べていますか。

4：1日に5回以上 3：1日に3～4回 2：1日に2回 1：1日に1回 0：ほとんど食べない

10) 甘味飲料 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で甘い飲み物（乳酸菌飲料、ジュース(果汁100%の飲料を除く)、スポーツドリンク等）を飲んでいますか。

4：1日に5回以上 3：1日に3～4回 2：1日に2回 1：1日に1回 0：ほとんど飲まない

11) 食事の問題 あなたは、お子さんの食事について偏食、食べすぎ、小食で困ることがありますか。

4：いつも困る 2：時々困る 1：あまり困らない 0：全く困らない

12) 咀嚼・嚥下の問題 あなたは、お子さんの食事について噛めない、飲み込めない、むせる等で困ることがありますか。

4：いつも困る 2：時々困る 1：あまり困らない 0：全く困らない

13) 体重に関する認識 あなたは、お子さんの体重についてどのように認識していますか。

3：太っている 0：適正体重である（ちょうど良い） 3：やせている 4：よくわからない

14) 食事の自立 あなたのお子さんは、食事やおやつ等を（補助なしで）自分で食べられますか。

0：全部できる 1：ほとんどできる 2：あまりできない 4：全くできない

15) 飲料の摂取方法 あなたのお子さんは飲料（粉ミルクを含む）を飲むときに、どのくらいの頻度で哺乳瓶を使いますか。

4：いつも使う 2：時々使う 0：全く使わない

16) 食事時の空腹 あなたのお子さんは、どのくらいの頻度で食事の時に空腹を空かせていますか。

0 : いつも空かせている 1 : 時々空かせている 2 : あまり空かせていない

4 : 全く空かせていない

17) 食事回数 あなたのお子さんは普段、1日に食事とおやつを合わせて何回食べますか。

4 : 1日1回以下 3 : 1日2回 1 : 1日3回 0 : 1日4～5回 2 : 1日6回以上

18) ながら食べ あなたのお子さんはご家庭で、どのくらいの頻度でテレビやタブレット、スマートフォン等を見たり、本を読んでもらったり、おもちゃで遊んだりしながら、食事やおやつを食べますか。

4 : いつもしている 2 : 時々している 1 : あまりしない 0 : 全くしない

19) 共食 あなたのお子さんは、普段どのように夕食をとっていますか。

0 : 家族そろって食べる 0 : おとなの家族の誰かと食べる 3 : 子どもだけで食べる

4 : 一人で食べる

20) スクリーンタイム あなたのお子さんは普段、テレビやタブレット、スマートフォン等を1日にどのくらい見ていますか。

4 : 1日4時間以上 3 : 1日3時間台 2 : 1日2時間台 1 : 1日1時間台

0 : 1日1時間未満

21) 安心感 あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

0 : はい 4 : いいえ 2 : 何ともいえない

22) 経済状況 あなたは、現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じていますか。

0 : 大変ゆとりがある 0 : ややゆとりがある 0 : 普通 2 : やや苦しい 4 : 大変苦しい

表 49. 3 歳～5 歳児対象の質問項目

※各選択肢に付している数字は選択肢番号ではなく、評点である。評点は、最も望ましい状態を 0 点とし、点数が高いほど望ましくない状態を表すこととした。

日本版栄養スクリーニング <3 歳～5 歳児対象>

1) ～22) について、お子さんの状況について最もあてはまる選択肢を一つだけ選んでください。

<注意事項> ご自宅のお食事だけでなく、保育園等の給食も含んだ内容で回答をしてください。

1) 穀類 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で穀類（ごはん、パン（あんパン・蒸しパン等を除く）、麺類、シリアル等）を食べていますか。

1：1 日に 5 回以上 0：1 日に 3～4 回 2：1 日に 2 回 3：1 日に 1 回 4：ほとんど食べない

2) 牛乳・乳製品 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で牛乳・乳製品（粉ミルク、チーズ、ヨーグルト等）を食べたり飲んだりしていますか。

0：1 日に 3 回以上 1：1 日に 2 回 2：1 日に 1 回 4：ほとんど食べない（飲まない）

3) 野菜 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で野菜を食べていますか。

0：1 日に 3 回以上 1：1 日に 2 回 2：1 日に 1 回 4：ほとんど食べない

4) 果物 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で果物を食べていますか。

0：1 日に 2 回以上 2：1 日に 1 回 4：ほとんど食べない

5) 魚 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で魚を食べていますか。

0：毎日 1 回以上 1：週に 4～6 日 2：週に 1～3 日 4：週に 1 回未満

6) 肉 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で肉類を食べていますか。

0：毎日 1 回以上 1：週に 4～6 日 2：週に 1～3 日 4：週に 1 回未満

7) 卵 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で卵を食べていますか。

0：毎日 1 回以上 1：週に 4～6 日 2：週に 1～3 日 4：週に 1 回未満

8) 大豆・大豆製品 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で大豆や大豆製品（豆腐、納豆、厚揚げ等）を食べていますか。

0：毎日 1 回以上 1：週に 4～6 日 2：週に 1～3 日 4：週に 1 回未満

9) ファストフード あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度でファストフード（ハンバーガー、フライドポテト、チキンナゲット等）を外食もしくはテイクアウトで食べていますか。

4：週に4回以上 3：週に2～3回 2：週に1回 1：月に数回 0：ほとんど食べない

10) 菓子 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で市販の甘いお菓子（砂糖を含むアメ、チョコレート、クッキー、ケーキ、ドーナツ、あんパン・蒸しパン等）やスナック類を食べていますか。

4：1日に5回以上 3：1日に3～4回 2：1日に2回 1：1日に1回
0：ほとんど食べない

11) 甘味飲料 あなたのお子さんは普段、どのくらいの頻度で甘い飲み物（乳酸菌飲料、ジュース(果汁100%の飲料を除く)、スポーツドリンク等）を飲んでいますか。

4：1日に5回以上 3：1日に3～4回 2：1日に2回 1：1日に1回
0：ほとんど飲まない

12) 食事の問題 あなたは、お子さんの食事について偏食、食べすぎ、小食で困ることがありますか。

4：いつも困る 2：時々困る 1：あまり困らない 0：全く困らない

13) 咀嚼・嚥下の問題 あなたは、お子さんの食事について噛めない、飲み込めない、むせる等で困ることがありますか。

4：いつも困る 2：時々困る 1：あまり困らない 0：全く困らない

14) 体重に関する認識 あなたは、お子さんの体重についてどのように認識していますか。

3：太っている 0：適正体重である（ちょうどよい） 3：やせている 4：よくわからない

15) 食事時の空腹 あなたのお子さんは、どのくらいの頻度で食事の時に空腹を空かせていますか。

0：いつも空かせている 1：時々空かせている 2：あまり空かせていない 4：全く空かせていない

16) 食事回数 あなたのお子さんは普段、1日に食事とおやつを合わせて何回食べますか。

4：1日1回以下 3：1日2回 1：1日3回 0：1日4～5回 2：1日6回以上

17) ながら食べ あなたのお子さんはご家庭で、どのくらいの頻度でテレビやタブレット、スマートフォン等を見ながら、食事を食べますか。

4: いつもしている 2: 時々している 1: あまりしない 0: 全くしない

18) 共食 あなたのお子さんは、普段どのように夕食をとっていますか。

0: 家族そろって食べる 0: おとなの家族の誰かと食べる 3: 子どもだけで食べる

4: 一人で食べる

19) 身体活動 あなたのお子さんは、保育所等の活動も含め、どのくらいの頻度で運動（外遊びも含む）をしていますか。

0: 1週間に5日以上している 1: 1週間に3～4日している 2: 1週間に1～2日している 4: 1週間に1日未満

20) スクリーンタイム あなたのお子さんは平日、テレビやタブレット、スマートフォン等を1日にどのくらい見ていますか。

4: 1日5時間以上 3: 1日4時間台 2: 1日3時間台 1: 1日2時間台

0: 1日1時間以下

21) 安心感 あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

0: はい 4: いいえ 2: 何ともいえない

22) 経済状況 あなたは、現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じていますか。

0: 大変ゆとりがある 0: ややゆとりがある 0: 普通 2: やや苦しい 4: 大変苦しい

D. 考察

本研究は、これまで我々が開発を進めてきた幼児の栄養状態を簡易的に評価するために開発した日本版栄養状態スクリーニング質問票案の妥当性を明らかにするために、専門家を対象とし、質問票案の妥当性検討を行った。

カナダでは NutriSTEP¹⁾が開発されているが、食事内容や生活習慣を質問する際には、各国の文化や習慣、食環境等が大きく影響するため、例えばこの NutriSTEP を日本で使おうと思っても適していないと考えられる部分が多い。本研究班で開発中のスクリーニングの質問票案は、NutriSTEP の改良版ではなく、より日本の子ども達や食環境、食習慣に適し、回答が容易であるものを目指している。

本研究では、これまでに開発してきた質問票案の妥当性を検討した、これは、NutriSTEP のイラン人を対象としたペルシャ語版が作成された際の手法⁴⁾を参考に検討を行った。この Mehdizadeh らの検討でも、CVI は 0.9-1.0 と同じ程度に高かった。また、Mehdizadeh らは、内容妥当性比 (content validity ratio: CVR) を Lawshe⁵⁾の手順に従って各項目について計算している。これは、専門家の評価を、「必須」、「有用だが非必須」、「非必須」と回答してもらいに分類し、許容範囲を同定する方法であるが、今回の我々の検討ではこの方法は採用しなかった。CVR の方法ではなく、より詳細な内容に関するコメントが不可欠と考え、各項目について自由記述欄を設けて専門家に回答を求めた。その結果、各専門家より、多くの懸念点や改善点等が明らかとなり、専門家の詳細な評価をもとに、研究班のメンバーで詳細まで検討し、質問票案を改善することが可能と

なった。専門家の意見の中に、医学や栄養学を背景とする研究班のメンバーでは気づけなかった内容も多数存在し、さらに栄養学の専門家ではない場合に通じにくい内容や表現等も明らかとなったことから、内容だけでなく表現や言葉の定義等、多くの内容を改善することができた。さらに、質問票を管理栄養士以外の職種や保護者も使うことを考えた上で、専門家からみた妥当な内容で、専門外の方や保護者にもわかるような表現を用いて改善を行った。

研究の限界点としては、専門部会のメンバーについては、研究班のメンバー由来で人を集めたため、偏っている可能性は否定できない。しかしながら、12名の専門部会の内訳などは、先行研究を参考にし、専門分野の偏りが少ないように配慮した。

今回の結果をもとに、具体的に保護者や保健所に勤務する管理栄養士・保健師等に対してフォーカスグループインタビューを行い、より実践的な内容に改善していくことが可能となった。

E. 結論

幼児の栄養状態を簡易的に評価するために開発した質問票案の妥当性を明らかにするため、医師、管理栄養士、保健師、看護師、疫学専門家、保育士、幼稚園教諭等の専門家を対象とし、内容の妥当性を検討した結果、妥当性は高いことが示され、さらに質問票の改善が可能となり、次ステップであるフォーカスグループインタビューに繋げることができた。

F. 健康危機情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- 1) 和田安代, 佐々木溪円, 多田由紀, 小林知未, 山縣然太郎, 秋山有佳, 横山徹爾. 5歳児の体格に関連する1歳6か月時及び3歳時の食生活—甲州プロジェクトより—, 第82回日本公衆衛生学会総会:2023.10.13-11.2; 茨城県. P413

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

参考文献

- 1) Randall Simpson JA, Keller HH, Rysdale LA, Beyers JE. Nutrition Screening Tool for Every Preschooler (NutriSTEP): validation and test-retest reliability of a parent-administered questionnaire assessing nutrition risk of preschoolers. Eur J Clin Nutr. 2008 Jun;62(6):770-80.
- 2) 厚生労働行政推進調査事業費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）乳幼児の発育・発達、栄養状態の簡易な評価手法の検討に関する研究 令和3年度総括・分担研究報告書（研究代表者 横山徹爾）, 2022.
- 3) 厚生労働行政推進調査事業費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業）乳幼児の発育・発達、栄養状態の簡易な評価手法の検討に関する研究 令和4年度総括・分担研究報告書（研究代表者 横山徹爾）, 2023.
- 4) Mehdizadeh A, Vatanparast H, Khadem-Rezaian M, Norouzy A, Abasalti Z, Rajabzadeh M, Nematy M. Validity and Reliability of the Persian Version of Nutrition Screening Tool for Every Preschooler (NutriSTEP®) in Iranian Preschool Children. J Pediatr

Nurs. 2020 May-Jun;52:e90-e95.

- 5) C.H.Lawshe. A quantitative Approach to Content Validity. Personnel Psychology. 1975; 28(4):563-575